

第1回みえ県民意識調査

《 報告書 》

平成24年5月

三重県戦略企画部

目次

調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 調査の内容	1
4. 回収結果	1
5. 報告書の見方	2
6. 回答者の属性	3
調査結果（県全体）	5
1. 幸福感について	5
2. 地域や社会の状況について	8
3. 日ごろの暮らしについて	10
4. 食の安全・安心について（個別テーマ）	12
5. 観光振興について（個別テーマ）	15
6. 地球温暖化対策について（個別テーマ）	18
調査結果（属性別集計）	21
1. 幸福感	21
2. 地域や社会の状況	32
3. 日ごろの暮らし	70
4. 食の安全・安心（個別テーマ）	98
5. 観光振興（個別テーマ）	108
6. 地球温暖化対策（個別テーマ）	116
7. 自由意見	130
（参考）標本誤差と調査の精度	132

集計資料

調査票

調査の概要

1. 調査の目的

県では、平成24年度からのおおむね10年先を見据えた県の戦略計画である「みえ県民カビジョン」において、『県民力でめざす「幸福実感日本一」の三重』を基本理念として掲げており、県民の「幸福感」についての意識や、現在の暮らしや社会の状況に対する実感などについて把握するため、「みえ県民意識調査」を実施した。

2. 調査の設計

- (1) 調査地域 三重県全域
- (2) 調査対象 県内居住の20歳以上の男女
- (3) 標本数 10,000人
- (4) 抽出方法 各市町の選挙人名簿を使用した等間隔無作為抽出法による。標本数は各市町の選挙人名簿登録者数の比率によって割り当てた。
- (5) 調査方法 郵送による発送・回収
- (6) 調査期間 平成24年1月～平成24年2月
- (7) 調査主体 三重県政策部企画室（平成24年4月より戦略企画部戦略企画総務課）
- (8) 調査委託機関 株式会社百五経済研究所

3. 調査の内容

調査の内容は、下記の項目から49の設問により成り立っている。

- (1) 幸福感
- (2) 地域や社会の状況
- (3) 日ごろの暮らし
- (4) 個別テーマ（今回は、下記の3テーマについて質問）
 - ・食の安全・安心
 - ・観光振興
 - ・地球温暖化対策
- (5) 属性質問（回答者ご自身のことについて）
- (6) 自由意見

4. 回収結果

- (1) 標本数 10,000人
- (2) 実回収総数 5,726人（回収率 57.3%）
- (3) 有効回答数 5,710人（有効回答率 57.1%）
- (4) 無効回答数 16人

調査地域区分と地域別標本数、ならびに有効回答数は次表のとおりである。

図表 1-4-1 調査地域区分と地域別標本数

居住地域	市町	標本数	有効回答数	有効回答率(%)	構成比(%)
北勢地域	四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菟野町、朝日町、川越町	4,432	2,515	56.7	44.0
伊賀地域	名張市、伊賀市	969	535	55.2	9.4
中南勢地域	津市、松阪市、多気町、明和町、大台町	2,705	1,635	60.4	28.6
伊勢志摩地域	伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町	1,441	801	55.6	14.0
東紀州地域	尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町	453	224	49.4	3.9
合計		10,000	5,710	57.1	100.0

5 . 報告書の見方

- (1) 比率は全て百分率で表し、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 複数回答の設問における比率の合計は通常100%を超える。
- (3) 内容が判別できない回答や無回答については「不明」とした上で、内閣府の国民生活選好度調査等と比較するため、問1のみサンプル数(n)から除外している。問2から問6についてはサンプル数(n)に含めている。
- (4) 図表の見出しや回答の選択肢の表現では、スペース等の都合上、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合がある。
- (5) 報告書中のグラフにおいて、5%未満の値については表示していない。
- (6) サンプル数(n)が100未満の属性、ならびに主な職業の「その他」、世帯構成の「その他」、年間の世帯収入の「わからない」の属性については、コメントを省略している。

6. 回答者の属性

【地域別】

「北勢地域」が44.0%と最も高く、次いで「中南勢地域」(28.6%)、「伊勢志摩地域」(14.0%)、「伊賀地域」(9.4%)、「東紀州地域」(3.9%)となっている。

【性別】

「男性」が46.8%、「女性」が51.3%となっている。

【年代別】

「60歳代」が24.6%と最も高く、次いで「70歳以上」(21.3%)、「50歳代」(17.5%)、「40歳代」(15.1%)、「30歳代」(13.1%)、「20歳代」(6.6%)となっている。

【主な職業別】

「企業、役所、団体、病院などの正規職員」が26.2%と最も高く、次いで「無職」(21.8%)、「パート、アルバイト、派遣社員など」(17.5%)、「専業主婦、専業主夫」(13.6%)、「自営業、自由業」(10.9%)などとなっている。

【結婚別】

「既婚」が74.3%と最も高く、次いで「未婚」(12.6%)、「離婚・死別」(10.6%)となっている。

【世帯構成別】

「二世帯世帯」が45.1%と最も高く、次いで「一世帯世帯」(29.8%)、「三世帯世帯」(14.2%)、「単身世帯」(7.4%)となっている。

【世帯全体の年間収入別】

「100万円以上～300万円未満」が27.2%と最も高く、次いで「300万円以上～500万円未満」(26.9%)、「500万円以上～1,000万円未満」(26.0%)、「1,000万円以上」(6.5%)、「100万円未満」(5.6%)となっている。

図表1-6-1 回答者の属性

属性	属性項目	件数	構成比
地域	北勢地域	2,515	44.0
	伊賀地域	535	9.4
	中南勢地域	1,635	28.6
	伊勢志摩地域	801	14.0
	東紀州地域	224	3.9
	不明	0	0.0
性別	男性	2,675	46.8
	女性	2,931	51.3
	不明	104	1.8
年代	20歳代	377	6.6
	30歳代	746	13.1
	40歳代	865	15.1
	50歳代	1,002	17.5
	60歳代	1,404	24.6
	70歳以上	1,219	21.3
	不明	97	1.7
	主な職業	農林水産業	213
自営業、自由業		621	10.9
正規職員		1,496	26.2
パート・アルバイト・派遣		1,000	17.5
専業主婦・主夫		776	13.6
学生		77	1.3
無職		1,246	21.8
その他		152	2.7
不明		129	2.3
結婚	未婚	719	12.6
	既婚	4,242	74.3
	離婚・死別	607	10.6
	不明	142	2.5
世帯構成	単身世帯	421	7.4
	一世帯世帯	1,701	29.8
	二世帯世帯	2,578	45.1
	三世帯世帯	809	14.2
	その他	81	1.4
	不明	120	2.1
世帯全体の年間収入	100万円未満	317	5.6
	100～300万円未満	1,551	27.2
	300～500万円未満	1,535	26.9
	500～1,000万円未満	1,483	26.0
	1,000万円以上	371	6.5
	わからない	272	4.8
	不明	181	3.2
有効回答数		5,710	100.0